

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 31 年 2 月 24 日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3471503361		
法人名	医療法人 三宅会		
事業所名	グループホーム新涯		
所在地	〒721-0955 広島県福山市新涯町三丁目14-7 084-981-1117		
自己評価作成日	平成31年2月4日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&JigyosyoCd=3471503361-00&ServiceCd=320&Type=search
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	平成31年2月22日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

<p>利用者様に寄り添い楽しく過ごせる雰囲気を創る。 笑顔の絶えない家族的な雰囲気のホームを目指す。 地域交流に積極的に参加し溶け込み協力しあえるホームでありたい。 防災、防火など災害に備えた訓練や地域連携を念頭に入れた訓練をする。 三宅会グッドライフ病院と連携した医療体制のもと、安心・安全な生活を送って頂く。</p>
--

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p>地域との交流を大事にし、地域行事（夏祭り・敬老会・秋祭り・ふれあいフェスタ作品展）などに積極的に協力・参加している。母体病院を中心に、地域のニーズに即した医療・福祉サービスを提供している。また、利用者の健康管理や病状変化に於いても即対応できる体制が整っている。働きやすい職場環境づくりに力を入れ、職員の意見要望を職場改善に活かし、その成果が職員の定着率の高さに現れている。本人主体を常に考え、寄り添うケアで取り組みがされている。利用者も自分の居場所、役割（食事の下準備、掃除など）があり、利用者の想いを実現している。外部講師による毎月の各種研修で職員のスキルアップを図り、利用者がその人らしく過ごせるよう医療を含むチームケアの向上に尽力している事業所である。次年度は、更なる日々のレクリエーションの充実に力をいれたいと考えている。</p>
--

自己評価	外部評価	項目()	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践に近づけている。	理念を玄関、事務所に掲げ、理解するよう職員は心掛けております。	理念に関して、職員の視覚的に目に着くところに掲示されている。職員間で話し合い、年間目標を作り上げている。個人目標を作り上げ、年2回個別面談を実施するなかで理念と照らし合わせながら、実践されている。外部講師による毎月の各種研修で職員のスキルアップを図っている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	地域の行事に積極的に参加、町内会にも参加し交流を図っています。	地元行事（夏祭り・敬老会・秋祭り・ふれあいフェスタ作品出展）に参加している。秋祭り際には、子ども神輿がホームまで来られている。地域の公民館で週1回行う”くわいカフェ”に利用者が定期的に出掛け交流を図っている。職員も町内掃除や夜間パトロールなどを手伝っている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	運営推進会議等を通じて認知症の理解や支援への方法を共有しています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	運営推進会議に市の職員、町内会長、民生委員、ご近所様、ご家族様に参加してもらい、施設の情報発信、アドバイスを受けております。	家族・市担当職員・町内会長・民生委員・近隣住民などの参加を得て、現状や行事報告及び意見交換がされている。利用者と家族との交流を図る目的で、年1回家族会を実施している。家族が特定者（2名程度）のみの状況を受け、今後は参加可能な日時など聴く機会を設けるようにしている。	現在、家族参加が数名（2名程度）のみの状況である。今後はより多くの参加を促す取り組みとして、①行事案内や会議の目的を説明、②年度毎に参加メンバーの変更、③運営推進会議に参加していない家族に議事録を送付できることを期待します。
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	運営推進会議に参加を要請し情報、意見など頂いております。施設の情報も発信しています。	運営推進会議の参加のほか、普段から相談・手続きなどで密に連携している。介護保険課などでの個別相談と共に情報共有している。事故報告書の提出や認定調査など協力関係を築いている。	

自己評価	外部評価	項目()	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	施設内の勉強会において身体拘束の正しい理解をするように取り組んでいます。 身体拘束委員会を開催し、身体拘束をしないケアに取り組んでいます。	研修などで職員は正しく理解し、身体拘束を行わないケアが当たり前という認識が徹底されている。適正化のための指針や3カ月毎の身体拘束委員会でのケース検討など、職員間で更に意識を高めている。現在、身体拘束の事例はないと報告されている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	施設内での研修、勉強会、医療法人三宅会での勉強会にも参加し虐待について理解を深めています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	活用しておりません。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	入所前に面接、見学を実施しております。また、契約時、サービス契約書の読み合わせをし解約、退所時の説明も合わせて行っています。そのうえで、署名、捺印を頂いています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	事前面談時の要望や面会時の意見などを取り入れ、玄関にアンケートボックスの設置し、ご家族様との懇談など努めてお話を聞くようにしております。	必要時の電話連絡や定期的な家族の面会時には日頃の様子を家族にお知らせしている。何でも話し合える雰囲気づくりや訪れやすい環境整備を心がけている。年1回家族対象にアンケートを実施し、家族の貴重な意見を伺い改善策に反映させている。	

自己評価	外部評価	項目()	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	ミーティングでの意見交換時要望を聞く場としております。また、この意見や要望を三宅会での連絡会議に報告しており改善に反映しております。	毎週ミーティングの開催、年2回の個人面談を設け職員のモチベーション維持や意識向上に繋げつつ、より良い運営や職場環境整備に反映させている。職員の要望で、車両購入、必要物品、適切な服薬管理ができるように薬のチェックなど業務改善をその都度行っている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	就業規則を事務所に閲覧できる様設置しており、施設長、管理者は常に環境改善に留意しパワハラ、セクハラのない職場環境を図っております。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	医療法人三宅会との勉強会、外部研修への参加を積極的に取り入れております。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	認知症カフェなどを利用し、同業他社の方々とも交流できる機会を作り、意見交換等できるようにしています。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	入所前の面接時に以前の生活環境等を聞き取りし、入居直後にはご家族様の協力を頂きながら、安心の確保に努めています。		

自己評価	外部評価	項目()	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>入居前の状況等をご家族様に十分確認し、ご家族様の要望と合わせ、ご利用者様のご希望等も確認し、サービス利用開始をするよう心がけています</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>事前面談時の要望や面会時の意見などを取り入れ、医療的ケアの必要性やリハビリ等も含め、関係各所と打ち合わせし、利用開始するようにしております。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>ご利用者様の尊厳を守り楽しく暮らせることを念頭に入れ受け入れしております。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>状況を把握し常にご家族様との情報共有に努力しています。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>訪問しやすい施設を目指し、ご家族様の家庭と同じ雰囲気づくりに努めています。</p>	<p>これまでの生活や大切にしてきた繋がりを尊重し、面会など旧知の関係性を紡いでいる。家族の協力を頂き、お墓参り、法事に行くなど取り入れている。電話の取次ぎや知人からの年賀状を頂いたり、かけがえのない繋がりを大切に生活を送っている。</p>	

自己評価	外部評価	項目()	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	ご利用者様にはできるだけリビングに来ていただき、共同生活されるように見守りをし、職員は支援できるように関わっています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	契約終了し退所後、三宅会の地域連携室や居宅介護支援事業所などと協力して相談や支援に努めています。		

Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ご利用者様、ご家族様との交流において情報を収集し、希望、要望に対処しています。	日常の会話の中で把握した利用者の想いは、申送り、介護記録に記入し職員間で共有している。以前書道がされていた経緯から、書道が継続できるように環境調整されている。利用者の得意なこと、また不得手なことを十分に把握して利用者の活動に利用している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入所時の面談などを基にこれまでの生活に沿うよう努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	日常生活の様子を記録、各人の状況を把握し、意思表示できないご利用者様には表情を読み取るよう対処しています。		

自己評価	外部評価	項目()	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>介護計画担当者は、管理者、看護師、施設長、担当医師、職員の意見を聞きご家族様にケアプランを提示しています。</p>	<p>本人の希望することが実現可能となるように、カンファレンスで、介護計画の実施状況やモニタリングを作成、現状に即して見直しなどを実施している。利用者が生き生きと暮らせる要素を増やし、本人の能力を活かしたプランとなるよう見直しを重ねている。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>朝・夕に申し送りを実施し情報の共有を図っています。残し申し送り事項を記録しています。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>最良の支援ができるように、医療法人三宅会と連携強化を図っています。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>地域との繋がりを絶やすことがないよう行事や会合に積極的に参加。敬老会、お祭りなど楽しんで生活出来る様に努めています。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>医療法人三宅会の協力により訪問看護を行っています。以前からのかかりつけ医については職員同行のもと受診出来るようにしています。</p>	<p>緊急時や24時間相談できる体制のこともあり、事業所の協力医を主治医としている。以前からのかかりつけ医への受診は、家族対応または職員対応としている。事業所として、看護職員も配置されている。週1回主治医からの訪問診療があり、訪問看護や医療機関との連携で迅速な対応を行なっている。</p>	

自己評価	外部評価	項目()	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	介護職員は訪問看護師や看護職員と情報共有し的確な診療や介護ができる状態にしています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	提携している医療法人三宅会のスタッフと情報共有をしています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	入所時にご家族様に方針を説明し、ご利用者様を交えながらお気持ちに沿った対応、支援を行います。	入居時に、重度化した場合における対応に係わる指針に基づいて、利用者・家族の意向を確認し、要望があれば看取りを行う方針で同意書を提出して頂いている。状態変化に応じて、かかりつけ医と家族との話し合いを重ね、検討を行い対応方針を決めている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	マニュアルに沿った対応を心掛けるよう訓練し、急変時に備えています。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	防火訓練を年2回以上実施しています。防災については地域との連携を図っています。年1回の町内会防災訓練に参加また防災会議にも参加しております。	地域住民との連携が必要なため、運営推進会議で災害対策について話し合いや町内会防災訓練、防災会議に参加をされている。訓練時には、地域住民も参加し、利用者は職員や地域住民の誘導で避難場所まで移動している。昨今の災害状況から、備蓄食を1階から2階へ移動し、減災意識を高めている。	

自己評価	外部評価	項目()	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	ご利用者様を尊敬し接遇するように心掛け、各人のプライバシーに配慮しています。	毎週職員目標を掲げ注意喚起をしている。利用者の尊厳に配慮し、苗字にさんを付けて呼びかけている。一人ひとりの性格やペースに合わせて不快な想いをさせないように、十分気をつけた対応をされている。第三者が見ても、聞いても、おかしくないケアに取り組んでいる。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	ご利用者様の希望、要望を聞き入れるようにしています。また、難しい方にはご家族様を交え解決するよう努めています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	柔軟な対応を心がけ、ご利用者様の情報をもとに要望にお応えしております。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	定期的に調髪をし、季節に合わせてご家族様に洋服の手配をお願いしています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	朝、昼、夕食とも医療法人三宅会の管理栄養士が献立し、食材は準備されたものを職員が調理しています。下準備などの手伝いをいただいています。	季節感のある食材や彩りを工夫し、見た目にも美味しく栄養価も考慮した食事提供をしている。敷地内に畑があり、野菜を収穫し、食事に活かしている。週3回業者から食材が届き、利用者が主となって日毎の食材の仕分け作業をされている。	

自己評価	外部評価	項目()	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>健康状態を把握し摂取量をチェック、また水分、栄養など各人に合わせた支援をしています。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食後各人に合わせた口腔ケアを実施しています。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>各人に合わせた排泄介助を実施しています。なるべくトイレでの排泄を支援していきます。</p>	<p>利用者の排泄パターンを把握し、トイレ誘導している。紙オムツからリハビリパンツにして排泄の自立を促した事例がある。状態に合わせてのトイレ誘導や身体状況に応じて、ベッド近くに、ポータブルトイレの設置をしている。トイレに座ることを基本に、自立支援に向けた取り組みをしている。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>便秘の原因を把握し、食事、水分の調整を心掛けています。なるべく薬の使用は避けています。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>各人の入浴スケジュールを計画しています。体調に考慮して入浴の支援をしています。</p>	<p>湯船にゆっくりと入浴が出来るように、週2回の午前または午後入浴を実施している。入浴後は、必ず保湿剤を塗り、皮膚トラブルがあれば、毎日入浴をし、清潔保持に努め、早期治療に努めている。必要時、足浴を行い利用者から喜ばれている。</p>	

自己評価	外部評価	項目()	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している。</p>	<p>夜間安眠出来るように日中はリ ビングルームで過ごして戴いたり 、外出支援をしています。生活リ ズムの構築に努めています。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりを使用している薬の 目的や副作用、用法や用量につ いて理解しており、服薬の支援 と症状の変化の確認に努めてい る。</p>	<p>薬剤の効用、副作用、用量を把 握し、変更あれば申し送り事項 とする。記録を残し各人の確認 に努めています。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過 ごせるように、一人ひとりの生 活歴や力を活かした役割、嗜好 品、楽しみごと、気分転換等の 支援をしている。</p>	<p>ご利用者様の生活リズム、趣味 、嗜好など考慮し本人様らしい 生活の支援をしています。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそ って、戸外に出かけられるよう 支援に努めている。また、普段 は行けないような場所でも、本 人の希望を把握し、家族や地域 の人々と協力しながら出かける ように支援している。</p>	<p>気候に合わせた、散策、ドライ ブ、買い物など希望に沿う支 援をしています。</p>	<p>近くのスーパーへの買い物や気 候が良ければ散歩をされている 。家族の協力を得て、外食・買 い物を兼ねて外出している。敷 地内では、家庭菜園を行ったり 、テラスでゆっくりと過ごす 方もおられる。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つこと の大切さを理解しており、一人 ひとりの希望や力に応じて、お 金を所持したり使えるように支 援している。</p>	<p>ご家族様の希望に沿うよう必要 に応じて対応しています。</p>		

自己評価	外部評価	項目()	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>希望に応じて支援をしています。ご利用者様が難しい場合はこちらで対応、支援するようにしています。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>共用スペースは常に清潔に保つことに努めリビング、廊下、階段にはご利用者様の作品などを掲示しています。お花などで季節感を出すよう努めています。</p>	<p>季節の花を玄関先や洗面所に飾り、利用者の作品を掲示している。足元から温まる床暖房を設置し、換気や室温調整を行い、利用者の健康管理に努めている。木目調を取り入れたつくりで家庭的な雰囲気を作りだすよう工夫している。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>リビングが食堂も兼ねて、席の指定もしています。テレビの視聴やゲームなどを行っています。席の配置替えも適宜実施しています。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>入所時に使い慣れたものを持参していただき、居心地のいい空間にするように努めています。</p>	<p>本人と家族と相談しながら自由に持ち込み、家庭に居る時のように落ち着いて過ごせるよう、趣味趣向を活かし個々の生活スタイルに沿ったスペースづくりを心がけている。掃除や換気に努め、清潔で安全な居室となるように職員間で留意している。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>施設内に手すり、歩行器、歩行訓練ができるようにスペースをとっています。</p>		

V アウトカム項目() ← 左記()内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホーム新涯

作成日 平成31年4月8日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	3	運営推進会議の家族参加が少ない。	家族の参加を増やす。 (年間で今年度の2倍程度)	会議の議事録等の送付行事と合わせての開催参加日程の調整。	6か月
2					
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。